

一緒に作り遊ぶ楽しさを感じて

○ねらい 感じたことや体験したことを音や動きで表現をすることを楽しむ。

作成日10月22日(月)
対象 4歳児 さくら組
作成者 進藤早苗



こうして
みる？



休憩中



保育の振り返り

地域の秋祭りは終わりましたが、さくら組ではまだまだ太鼓がブームのようで、法被を着て自分達で作った太鼓を差上げながら園内を回っています。製作の時も「ここは何色！」「僕のところは〇色のはちまきだから、〇〇色にしたいよ」いろいろと声が聞こえてきて楽しい活動でした。じっくり作りたい子、早く持ち上げたい子と「どんどんどん」と床を鳴らしたりと本当に賑やかでした。『よいさ、よいさ』という元気な掛け声の中友達を誘いあっています。人数が多くても、しっかり持っていないとバランスが悪く太鼓台が崩れてしまうことや、もう一度気持ちを立て直して『さあいくぞ！』と息を揃えている様子を見ていると、同じ目的に向かってやり遂げようと協力していることがよく伝わってきました。太鼓を担ぐ子、列になって後ろをついていく子、歌を歌いながら誘導する子と役割分担も自然と出来、本当に地域の太鼓の行事のような賑やかさが園内で響いていました。遊びながら太鼓が大好きな気持ちや思いを言葉に出しています。進む方向で友達と意見がぶつかり言い合いになったり、「先生〇〇くんが嫌な言い方してきた」と気持ちを上手く伝えられなくて涙がでてしまうこともありました。その都度、子ども達の話聞き、お互いの気持ちを話して相手の気持ちにも気づいたりしている毎日です。遊んでいて楽しい事ばかりや自分の思い通りにいかないことも多々あり、はがゆい気持ちも経験しています。自分の気持ちに折り合いをつけていく様子を見守りながら、子ども達が「話して良かったな」「先生と一緒に伝えられたから、今度は自分で伝えてみよう」と思えるような雰囲気と子ども達が安心して言葉や思いを伝えてきてくれ、一緒に気持ちを共有できるような保育教諭でいたいなと改めて感じました。

(健康な心と体、豊かな感性と表現、言葉による伝え合い、数量や図形、標識や文字等への関心・感覚、思考力の芽生え、社会生活との関わり)